
■ 7. プロンプトの表示

● 表示モードでの機能

◆ カウントアップ

表示モード中に0秒～59分59秒の範囲で時間経過を表示することができます。

- ・Ctrl + P: カウント開始
- ・Ctrl + S: カウント終了

カウント終了で、F11(A-COUNT)に入力されたテキストが表示されます。
元のカードへ戻る際は、F11を押して下さい。

◆ カウントダウン

表示モード中に、下記のカウントダウンを表示します。

- ・Ctrl + Q: 15秒前からのカウントダウン
- ・Ctrl + W: 30秒前からのカウントダウン
- ・Ctrl + E: 45秒前からのカウントダウン
- ・Ctrl + R: 60秒前からのカウントダウン
- ・Ctrl + T: 1分30秒前からのカウントダウン
- ・Ctrl + Y: 2分前からのカウントダウン
- ・Ctrl + U: 2分30秒前からのカウントダウン
- ・Ctrl + I: 3分前からのカウントダウン

カウントダウンは残時間が無くなると「TIME OVER」と表示され自動的に終了しますが、途中で中止したい場合は「Ctrl + S」を押します。
カウントダウンを中止すると、カウントダウン実行前のカードに戻ります。

◆ 画面表示の反転機能

● 外部モニター

表示モード時「Ctrl + Shift + H」で 外部モニターの表示を反転します。

● 本体モニター(PCモニター)

表示モード時「Ctrl + H」で本体モニターの表示を反転します。

(どちらとも編集モードに戻ると設定は解除されます)

※本体モニターの反転機能は、モニターの出力設定で

「本体モニターを直接ハーフミラーに映す。(本体モニターを反転表示)」を選択した時、
または、「その他の設定」で本体モニターを反転している時に限り有効です。

◆ テキストの強調反転表示(カード切り替え時のみ)

表示モードで強調反転表示させたい行をマウスでクリック。
再度、クリックすると強調反転表示を終了します。

◆ フラッシュ

テキストを強調反転表示した状態で、Fキーを押す。

Fキーを押している間、選択した行がフラッシュ(点滅)表示となります。

Fキーを離すと通常の表示にもどります。(フラッシュと強調反転表示が同時に解除されます)